

新型コロナウイルス感染症対策緊急政策パッケージ

第1弾

国・県の緊急対策を踏まえ、「子どもと生活の支援」「地域経済の支援」「感染拡大の防止と医療体制の充実」を3本の柱に、総額約52億円の新型コロナウイルス感染症の総合対策を展開し、この感染症により影響を受ける市民や事業者を全力で支援します。この総合対策は、補正予算成立後、速やかに実行していきます。

■歳入歳出予算 (単位:万円)

| 会計 | 補正前 | 補正額 | 補正後 |
|-----------------|-----------|---------|-----------|
| 一般会計 (第1号) | 2,179,000 | 517,798 | 2,696,798 |
| 病院事業会計 (第1号) | 205,460 | 780 | 206,240 |

I 子どもと生活の支援

51億1,581万円

特別定額給付金の支給 国制度

50億900万円

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」による、簡素な仕組みで迅速かつ確に家計への支援を行うための特別定額給付金給付事業として、市民一人あたり10万円を支給します。

子育て世帯への臨時特別給付金の支給 国制度

7,761万円

児童手当を受給する世帯(0歳～中学生のいる世帯)に対し、子育て世帯臨時特別給付金給付事業として、その対象児童一人あたり1万円を上乗せして支給します。

住居確保給付金の支給対象の拡大 国・市制度

100万円

住居確保給付金の支給対象を拡大し、休業等に伴う収入減少により住居を失う恐れが生じている方に対しても給付金を支給します。

通信教育による家庭学習の支援 市独自

950万円

市内小中学校が臨時休業となる状況下においても、児童生徒が学校と繋がりを保ち、意欲的に学習に取り組めるよう、定期的に学習教材を配布・回収し、先生が評価・フォローを行う通信教育を行います。

オンライン学習のための就学援助家庭への給付金の支給 市独自

1,870万円

就学援助家庭が小中学校の休業期間中においてもオンライン学習を行うことができるよう、インターネット環境整備として、最大7万円の給付金を支給します。

II 地域経済の支援

2,550万円

小規模事業者経営改善資金の実質無利子化の実現 市独自

300万円

小規模事業者経営改善資金(マル経融資)について、利子補給の対象を、新型コロナウイルス対策による貸付の拡充部分を含め、設備資金に加え運転資金まで拡大するとともに、5年間に限り融資の利子の全部を補助し、実質無利子化を図ります。

経営向上サポート事業補助金の創設 市独自

450万円

業況が悪化し、経営の維持向上に支障をきたしている中小企業・小規模企業が今回の難局を乗り越えるため、販路開拓や生産性向上などを目指す取り組みを支援します。(補助対象経費の3/4を補助 上限30万円)

飲食店を応援する「亀山エール飯チャレンジ事業」の創設 市独自

1,800万円

大きな打撃を受けている飲食店の経営持続や、消費者の購買意欲の向上による消費喚起につなげるため、関係団体と連携し、お得なテイクアウト商品の開発・販売を支援します。(一律25万円)

III 感染拡大の防止と医療体制の充実

3,667万円

衛生資材の確保等 市独自

2,887万円

小中学校、幼稚園、保育園、認定子ども園等へ支給する備品・消耗品(空気清浄器、マスク・消毒液・非接触型体温計など)の購入等を行います。

市立医療センターにおける医療資材と病床の確保 市独自

【一般会計繰出金】780万円

備品・消耗品(人工呼吸器・マスク・フェイスシールドなど)の購入等を行います。

新型 コロナウイルス 感染症対策 緊急政策 パッケージ

第2弾

新型コロナウイルス感染症の総合対策を充実・強化するため、「子どもと生活の支援」「地域経済の支援」「感染拡大の防止と医療体制の充実」の3本柱とする総額約4.2億円の緊急政策パッケージ(第2弾)を展開し、市民や事業者を全力で支援します。この総合対策は、補正予算成立後、速やかに実行していきます。

新型コロナウイルス感染症対策

4億2,460万円

亀山市

I 子どもと生活の支援

2億8,273万円

国民健康保険税の市独自の減免制度の拡充等

国・県・市制度 市独自

【一般会計繰出金等】1,383万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の事業収入等の減少が見込まれる世帯等に対し、国民健康保険税を市独自制度を加えて減免します。また、新型コロナウイルス感染症に感染した被用者に対し傷病手当金を支給します。

全児童生徒への1人1台タブレットの実現

国・市制度

2億5,600万円

義務教育段階からICTを活用することにより、児童生徒の情報活用能力の育成を行うため、小・中学生1人1台分のタブレット端末を整備します。

小・中学校の給食時等における感染防止対策の徹底

市独自

900万円

小・中学校の児童生徒・教職員用の卓上シールド、教職員用フェイスシールド等を購入します。

放課後児童クラブにおける感染防止対策の徹底

市独自

294万円

放課後児童クラブが感染防止対策物品を購入するための補助等を行います。 ※市長・副市長・教育長並びに議員の期末手当減額分を活用します。

模擬授業動画の制作

市独自

96万円

学校再開後に、授業が行われなかった期間分の学習を効率的かつ効果的に行えるよう、オリジナル学習教材を制作します。

II 地域経済の支援

1億3,000万円

亀山版/持続化給付金制度「けいぞく」の創設 [地方創生臨時交付金活用]

市独自

1億500万円

国が支給する「持続化給付金」の対象とならない市内の中小企業者、小規模事業者等に対し、市独自の給付金を支給します。

休業要請に対する協力金の交付 [地方創生臨時交付金活用]

県・市制度

2,500万円

三重県の新型コロナウイルス感染症拡大阻止による休業要請に対する協力金の1/2を市が負担します。

III 感染拡大の防止と医療体制の充実

1,187万円

市立医療センターへのPCR外来検査センターの設置等

市独自

【一般会計繰出金】380万円

市立医療センターにPCR検査用の検体を採取するための「亀山地域外来検査センター」を設置するとともに、医療機器の購入を行います。

「WHO健康都市/免疫力アップ大作戦」の展開

市独自

150万円

免疫力を向上させる取組を啓発するため、食材や食事、レシピの紹介、屋内でできる運動の紹介を掲載したリーフレットを作成し、全戸配布を行います。

災害時における避難所の感染防止対策の強化

市独自

100万円

指定避難所の運営において必要となる感染防護衣、段ボールパーティション等を購入します。

医師会等との連携による感染防止の啓発の強化

市独自

30万円

亀山医師会等との連携により感染防止の取組を啓発するチラシを作成し、全戸配布を行います。

医療資材等の確保

市独自

360万円

住民接種に必要なワクチンを保管するための薬用冷蔵ショーケースや亀山市社会福祉協議会へ支給する衛生用消耗品等を購入します。

図書館における感染防止対策

市独自

167万円

書籍を経由した感染を防ぐためのブックシャワー・ライブラリーグローブを購入するとともに、学習室内での感染を防ぐための換気扇等を設置します。

新型 コロナウイルス 感染症対策 緊急政策 パッケージ

第3弾

国の第2次補正予算も踏まえつつ、新型コロナウイルス感染症の総合対策を更に推進するため、「子どもと生活の支援」「地域経済の支援」「感染拡大の防止とアフターコロナへの対策」を3本柱に、総額約2.8億円の緊急政策パッケージ(第3弾)を展開し、市民や事業者を全力で支援します。これらは、補正予算成立後、速やかに実行していきます。

新型コロナウイルス感染症対策

2億7,630万円

亀山市

I 子どもと生活の支援

9,300万円

亀山版/特別定額給付金制度「はぐくみ」の創設 市独自

4,150万円

国の特別定額給付金の対象とならない、令和2年4月28日以降、令和3年3月31日までの期間の出生児を対象とし、本市の住民基本台帳に記録を有する親権者に対し出生児1人につき10万円を給付します。

ひとり親世帯への臨時特別給付金の支給 国制度

5,150万円

子育てと仕事を1人で担う低所得のひとり親世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、児童扶養手当受給世帯等へ臨時特別給付金を支給します。

給付金の額は、受給世帯等へ1世帯当たり5万円・第2子以降1人につき3万円とし、収入が減少した受給世帯等へは更に1世帯当たり5万円の追加給付を支給します。

亀山プレミアム商品券「TAKERU」「たちばな」の発行 市独自

新型コロナウイルス感染症の影響による市民生活を支援するため、全市民が購入可能な1万円の購入額で1万3千円分が利用できる(プレミアム率30%)市内限定のプレミアム付商品券を発行します。(発行数5万冊)

II 地域経済の支援

1億8,000万円

亀山プレミアム商品券「TAKERU」「たちばな」の発行(再掲) 市独自

1億8,000万円

新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している経済活動の回復を図るため、消費喚起を促すとともに売上げが減少した市内事業者への支援を行う市内限定のプレミアム付商品券を発行します。

発行する商品券(1万3千円)は、「TAKERU」(1万円分)が登録のある全店舗で、「たちばな」(3千円分)が登録のある小規模店舗で利用できるようにします。(発行予定総額6億5千万円)

III 感染拡大の防止とアフターコロナへの対策

330万円

消防における感染症患者の移送・搬送に係る救急資材の充実 市独自

100万円

市立医療センターにおける「亀山地域外来検査センター」の開設に伴い、感染の疑いのある患者の移送・搬送に万全を期すとともに、感染第2波に備えるため、救急隊員の感染防護衣を購入します。

都市部への情報発信力の強化 市独自

230万円

アフターコロナを見据え、首都圏等から地方回帰の動きが見込まれることから、未だ感染者の発生がない本市を安全な移住先として選んでもらえるよう、首都圏に効果的なPRや移住希望者へのサポート等を行う「移住・交流促進アドバイザー」を配置し、移住に関する情報発信の強化を図ります。

新型 コロナウイルス 感染症対策 緊急政策 パッケージ

第4弾

新型コロナウイルス感染症の総合対策を一層推進するため、「子どもと生活の支援」「地域経済の支援」「感染拡大の防止とウィズコロナ対策」を3本柱とする総額約1.4億円の緊急政策パッケージ(第4弾)を展開し、市民や事業者を全力で支援します。この総合対策は、補正予算成立後、速やかに実行していきます。

新型コロナウイルス感染症対策

1億3,769.3万円

亀山市

I 子どもと生活の支援

2,157.8万円

修学旅行のキャンセル料の全額補助 市独自

775.8万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、小中学校が実施を予定している修学旅行を中止又は延期した場合、保護者等に経済的負担が生じるため、キャンセル料等を全額補助します。

住居確保給付金の増額等【緊急政策パッケージ(第1弾)追加分】 国・市制度

1,382万円

相談等の件数が増加する住居確保給付金に係る予算を増額し、休業等に伴う収入減少により住居を失う恐れが生じている方に対する支援を行います。また、外国人からの窓口相談等に円滑かつ柔軟に対応するため、多言語音声翻訳機器を購入します。

II 地域経済の支援

2,863.3万円

会計年度任用職員の緊急雇用 市独自

463.7万円

新型コロナウイルス感染症の影響により雇用喪失の発生が危惧されることから、緊急雇用対策として会計年度任用職員(5人)を任用します。

学校給食休止時の食材費等の損失補助 国・市制度

199.6万円

新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業期間における給食休止への対応として、既に発注されていた食材の費用等について、食材等納入事業者に対しその損失補助を行います。

休業要請に対する協力金の増額【緊急政策パッケージ(第2弾)追加分】 県・市制度

2,200万円

県の新型コロナウイルス感染症拡大阻止による休業要請に対する協力金の申請件数が想定を上回ったため、市負担分に係る予算を増額します。

III 感染拡大の防止とウィズコロナ対策

8,748.2万円

インフルエンザ予防接種費用の無償化 市独自

5,701.2万円

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に伴う医療の混乱と重複感染による重篤化を防ぐため、高齢者等の予防接種費用を無償化します。

高圧蒸気滅菌器等の衛生資材の確保 県・市制度

2,997万円

小中学校で行う健康診断や幼児に対する健康診査等で使用する器具を滅菌するオートクレーブ(高圧蒸気滅菌器)や保育園・幼稚園等で使用するマスク等の衛生用品を購入します。

乳児全戸訪問事業における感染防止対策 県制度

50万円

子育て世代包括支援事業における乳児全戸訪問で使用する非接触式赤外線温度計や感染防護衣等の衛生用品を購入します。

新型 コロナウイルス 感染症対策 緊急政策 パッケージ

第5弾

新型コロナウイルス感染症の総合対策を一層推進するため、「子どもと生活の支援」「地域経済の支援」「感染拡大の防止とウィズコロナ対策」を3本柱とする総額3,600万円の緊急政策パッケージ(第5弾)を展開し、市民や事業者を全力で支援します。この総合対策は、補正予算成立後、速やかに実行していきます。

新型コロナウイルス感染症対策

3,600万円

亀山市

I 子どもと生活の支援

2,710万円

小 中学校等における手洗い場などの水栓改善 市独自

1,940万円

小中学校・幼稚園・保育所・認定こども園において、児童・生徒の手洗い場等の蛇口への接触機会を低減するため、水栓をレバー式又はセンサー式に取り替えます。

小 中学校等における健康診断用器具の確保 市独自

225万円

小中学校・幼稚園・保育所・認定こども園において、健康診断に使用する器具(歯鏡、消毒盤等)を購入します。

小 中学校等へのサーモグラフィー機器の整備 市独自

117万円

小中学校・幼稚園・保育所・認定こども園の各種行事等における来訪者の中から発熱兆候者を迅速かつ的確に感知するための機器を購入します。

放課後児童クラブの利用料減収に対する補助等 国・県・市制度

428万円

小学校の臨時休業による放課後児童クラブの利用自粛に伴い、利用料が減収となった放課後児童クラブ運営者へ補助等を行います。

II 地域経済の支援

既決予算対応 (既決予算 1億500万円)

亀山版/持続化給付金制度「けいぞく」の拡充 [地方創生臨時交付金活用][緊急政策パッケージ(第2弾)追加分] 市独自

既決予算

国が支給する「持続化給付金」の対象とならない市内の事業者を対象に、法人は30万円、個人事業主は10万円の給付金を交付するもので、交付対象者の拡大と交付申請期限の延長を行います。

交付対象者の拡大：(前年同月比の売上高)30%以上50%未満減少 ⇒ 15%以上50%未満減少

交付申請期限の延長：令和3年1月15日(国の期限) ⇒ 令和3年3月31日

III 感染拡大の防止とウィズコロナ対策

890万円

従来の成人のPCR検査に抗原検査を加え、さらに小児にも対応できる「亀山発熱検査外来」の創設 市独自

369.4万円

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、抗原検査も可能とする検査体制の拡充を図るため、市立医療センターに発熱検査外来用仮設ハウスの増設と器機備品を購入します。また、小児に係る検査については、市の委託事業として実施します。

ウィズコロナ時代に即応した「オンライン面会」の実施 市独自

240.6万円

市立医療センターにおいて、院内Wi-Fi環境の整備並びにパソコン・タブレット等の備品の購入を行い、オンラインによる面会を可能にします。

スマートフォン決済アプリによるキャッシュレス化及びコンビニ収納の拡充 市独自

280万円

感染リスクの低減を図るため、農業集落排水処理施設使用料の納付方法の多様化を進めます。

新型 コロナウイルス 感染症対策 緊急政策 パッケージ

第6弾

新型コロナウイルス感染症の総合対策を一層推進するため、これまでの一連の対策に引き続き、「感染拡大の防止とウィズコロナ対策」として、総額1,920万円の緊急政策パッケージ(第6弾)を展開し、市民生活を全力で支援します。この対策は、補正予算成立後、速やかに実行していきます。

新型コロナウイルス感染症対策

1,920万円

亀山市

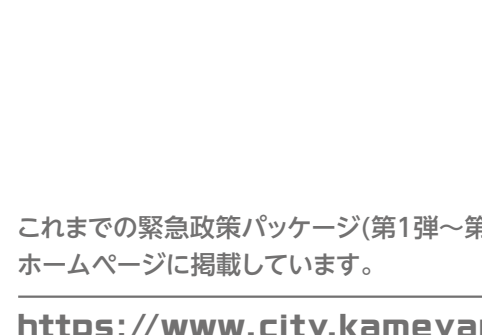
感染拡大の防止とウィズコロナ対策

1,920万円

ワクチン接種に向けた体制の確保 市独自

新型コロナウイルスワクチンが実用化された際に早期に接種ができるよう、市民へ接種券等を個別通知するためのシステム改修や、接種順位の上位となる医療従事者等への接種経費など、接種体制の確保を図ります。

1,920万円



これまでの緊急政策パッケージ(第1弾～第5弾)は
ホームページに掲載しています。



<https://www.city.kameyama.mie.jp/>